

遠賀川流域活動報告

遠賀川流域を綺麗に保つ活動特集

嘉麻市

5月13日 山田川クリーンキャンペーン

[詳細はこちら](#)

遠賀川の支川である山田川は、普段からゴミが多く、不法投棄も多いところです。そのような現実を打破すべく、今から15年前（平成9年）、当時地元で活動していた住民団体（13団体）が集結し「山田川クリーンキャンペーン」を始めました。

このキャンペーンは、清掃活動の他にも、中学生から河川を美しくする標語を募集し、河川美化啓発の看板を設置するなど山田川の美化活動に尽力しています。

そんな活動は地元でも定着し、キャンペーン当日には多くの方々に参加していただきました。

今回参加した山田中学校の生徒の皆さんは、「こんなにゴミがあるなんて・・・」と始めはあまりのゴミの多さに閉口。それから気を取り直し黙々と河川敷のゴミ（特にペットボトルや空き缶、ビニール袋が多かったそうです）を回収していました。今回は今まで取れなかった川の中のゴミも、嘉麻市消防団の方々の協力もあり大量に回収できました。中学生は、「とっても嫌な臭いがした」「もっときれいな川にしないといけないと思いました」などの声。そして「これからはゴミは絶対に捨てない」と強い口調で話してくれ、実践的な環境教育にもなっていると感じました。



拾っても 拾っても・・・



今回の助っ人「嘉麻市消防団第1分団大橋分隊」の皆さん



山田中学校の生徒さん達

田川市

6月3日 中元寺川水辺公園清掃

[詳細はこちら](#)

田川市にある中元寺川水辺公園が整備される前は、草木が生い茂り、人が近寄りがたい雰囲気、ゴミの不法投棄が絶えない場所でした。

しかし、周辺住民の強い要望によってカーン乗り場、遊歩道を備えた河川公園が整備されると、住民団体が主体となった河川敷の清掃や、環境学習など、多くの催しが開催される市民の憩いの場へと生まれ変わりました。

今回の清掃活動には、住民団体や地域住民、田川市の消防団など約90人が参加して作業が行われました。今回は今まで取ることが出来なかった川の中のゴミも、消防団の皆さんの手によってみるみる回収され、清掃終了時にはものすごいゴミの山。

会のメンバーの方は「ゴミのないきれいな公園になりましたが、きれいな公園に保つのが大変です」と話されていました。



こんなとこまでゴミが・・・



強力な助っ人登場！



川の中も凄いことに・・・



すさまじいゴミの量・・・

飯塚市

6月23日 中の島周辺花いっぱい大作戦

[詳細はこちら](#)

この取り組みは、芳雄橋から新飯塚橋の間の河川敷約5,000㎡を、秋は彼岸花、春にはラッパ水仙を咲かせようと、I LOVE 遠賀川実行委員会の呼びかけで実施されました。

彼岸花は各団体によって2万6千個が植えられ、ラッパ水仙は9月末に植えられる予定です。各団体は担当エリアが決められ、球根の植え付けや、花の咲く時期には草取りやゴミ拾いを、開花して2月後には葉を刈り取るなど、一連の管理作業を実施する事になっています。

この日は約70人が参加し、彼岸花約6500個が河川敷に植えられました。作業された方は、「彼岸花の植え付けは2回目なので要領も分かっており、早く作業できました。これから植えるラッパ水仙の植え付けにもぜひ来たい。」と話されていました。

実行委員会の方は、「ラッパ水仙や彼岸花は一度植えると球根が自然に増えるので、一度植えると、きれいな花が毎年見られるようになります。中の島が市民の憩いの場になるように取り組みを広げていきますので、是非みなさん見に来てください。」と話されていました。



みなさん楽しく作業されました。



自分が植えた場所は、みなさん覚えて帰るそうです。



土が粘土質のため、穴がなかなか掘れずみなさん大苦戦されていました。



土が粘土質のため、穴がなかなか掘れずみなさん大苦戦されていました。

遠賀川流域だより

第26号
平成24年7月

「I LOVE 遠賀川流域住民交流会 in 嘉穂でのアトラクション」

◆田川市◆

5月19・20日 川渡り神幸祭

➡ 詳細はこちら

田川市の初夏の風物詩といえは「川渡り神幸祭」。今年は5月19日、20日に開催されました。金色のみこしと色とりどりの飾りを付けた山笠が彦山川を豪快に渡ると、延べ10万人以上と言われる見物客は大いに沸きたちました。

このお祭りは、約450年前から同市の「風治(ふうじ)八幡宮」に伝わる神事です。ご神体が八幡宮を出発し、クライマックスでは、みこし2基とともに、高さ約12メートル、重さ約3トンの山笠11基が次々と川を渡り、担ぎ手たちが山笠を激しく揺らし豪快に水しぶきを上げると、見物客から大きな歓声が上がりました。

という事で、今年も大変盛り上がった「川渡り神幸祭」ですが、祭りのあとに残っているのが、残念ながらゴミの山。

この問題に毎年頭を悩ませている地元の各団体では会場に隣接する伊田小学校と連携して、ゴミを減らす取り組みを毎年実施しています。

今年は、6年生と4年生が協力し、ごみ減量のメッセージとイラストを描いたゴミ箱を作成し、まつりの主会場である彦山川河川敷に置きました。その効果は絶大で、主催者の方は「毎年作成してくれて大変助かっている。年々ゴミを捨てる人が少なくなっている」と述べられていました。

また、まつりの次の日に河川敷のゴミ拾いを行う事は伊田小学校の恒例行事となっています。小さな頃から郷土の誇りであるこのお祭りを大事にする心が芽生えていると感じました。



夜も幻想的です。

小学生が作成したゴミ箱

◆宮若市◆

4月8日 菜の花と桜の見事なコントラスト (犬鳴川の桜まつり)

➡ 詳細はこちら

犬鳴川の桜まつりが4月8日、犬鳴川河川公園において開催されました。この公園は、川の堤防を広げて作られており、桜・つつじなど1万本が植えられているほか、花壇10カ所、せせらぎ水路なども設けられている、芝生をふんだんに使った芝生公園で、東屋、トイレなども整備されています。

ここの特徴はなんといっても桜と菜の花が同時に見られる絶景スポットにあります。河川敷から眺めると、菜の花の先に桜が咲き誇り、その美しさは新しい宮若市の春の風物詩となりつつあります。

桜まつりに集まった方々は、お花見を始める前に、河川敷の清掃や、花壇の整備を行うなど、河川公園は地元へ愛されるスポットとなりました。



まつり前日には前夜祭も行われ、1300本のエコキャンドルが河川公園と、その対岸に灯され、幻想的な雰囲気を醸し出しました。



河川堤防の上に公園があります。



公園内の花壇にも花が植えられました。



菜の花の黄色に桜が映えます！

◆嘉麻市◆

4月29日 八反田・川のぼりイカダレース大会

➡ 詳細はこちら

4月29日、嘉麻市上臼井地区八反田船入り場において、「八反田・川のぼりイカダレース大会」が開催されました。遠賀川は今から100年ほど前まで、石炭や生活物資、木材などを運ぶ舟運が盛んで、最盛期には数千隻もの船が行き来するほど船との歴史が深いところです。

開催地である「八反田船入り場」は、江戸時代、秋月藩の米蔵があり、遠賀川の水運を利用し川ひらた(五平太舟)で年貢米を運んだ歴史的な場所です。この場所で開催する事は、ふるさとの河川愛護や地域の活性化にもつながると「嘉麻市商工会青年部」が中心となって実行委員会を形成して取り組んでいます。

今年参加した14チームは、自分たちでデザインしたイカダを手作りして臨んでおり、レースのみならずイカダのデザイン

も楽しめるイベントです。

レースは、往復約1km、1チームが2回ずつアタックし、その合計タイムを競います。ルールは、漕ぎ手が各4名まで、年齢60歳以上は1回目30秒、二回目は15秒先にスタートするハンディ方式です。上位から5チームが決勝戦(往復1.2km)に進み、優勝チームが決められます。今回参加した選手からは、「イカダが転覆して川に投げ出された。水は思ったよりきれいだった。」「川は近くて遠い存在だったけど、今回レースに参加して川を身近に感じられた。」など沢山の声を聞くことが出来ました。

遠賀川ではこのようなイカダレースが他にも行われています。興味のある方はぜひ参加してみてください。



スタートの瞬間です！



河童も参加！



デザイン優先！？みなさん楽しそうです。

◆香春町◆

5月12日 第63回福岡県植樹祭の開催

[詳細はこちら](#)

5月12日、香春町において「植林は地球を救う第一歩」を大会テーマに「第63回福岡県植樹祭」が開催されました。

会の冒頭、地元加治香春町長と、小川福岡県知事の挨拶があり、知事は「私たちの生活に多くの恵みを与えてくれる森林の大切さを再認識し、福岡県の森林を県民の皆様と共に守り育てていきたい」と述べられました。

式典では、福岡県の緑化の推進や森林の保全管理に大きく貢献された方を表彰する「緑化功労者表彰」が行われ、テーマ表彰では、香春町の小学校4・5・6年生の約200作品の中から、最優秀賞、優秀賞、入賞が選ばれました。

続いて「採銅所小学校緑の少年団」による「緑の誓い」が行われ、県知事や香春町長からボランティア植樹苗木を受け取ると、みんな元気に発表しました。

その後、「呉ダム渓流公園」では県知事や香春町長をはじめとした代表者によるモミジの植樹、「道の駅香春万葉公園」ではボランティアの方々によるハギやヤマブキなどの植樹が行われました。

植樹に参加された方は「香春町で初めて植樹祭が行われたことはとても光栄でした。香春に来られた方々はゆっくりと史跡巡りをしてもらいたい」と話されていました。



勾金小学校のみなさん。みんなこの日のために一生懸命練習しました



大会テーマ200作品から選ばれ、みんなうれしそうです



植樹式では紅葉が植えられました。

◆中間市◆

5月26日 ほたる観賞会が開催されました

[詳細はこちら](#)

5月26日「中間ほたる・メダカの会」の主催で、中間市にある「曲川源流水辺の里」において、「ほたる観賞会」が開催されました。会の理念は、「中間市に、ほたる・メダカを定着させ、遠賀川・曲川・堀川・山田川などの河川へ拡大すること」だそうで、会のみなさんは日々、ほたるの生息環境を整え（ほたるの幼虫の飼育、幼虫の餌場の確保）しています。更に、毎年親ほたるから産卵した卵を会員が分担して飼育し、例年11月に保育園児らによって“ほたるの幼虫を曲川に放流する”というイベントも開いています。

そんな努力もあり、観賞会当日には「曲川源流の水辺の里」を流れる約100mほどの川に、当日確認された約150匹以上のほたるが舞う光景を見ることが出来ました。

また、曲川の源流は伏流水のため水温が他の川に比べて暖かく、ほたるが早く飛ぶそうで、周辺では最も早くほたるを見ることが出来るスポットだそうです。

観賞会では、今年から安全にほたる観賞ができるようにと、中間市が安全柵を川の周辺に取り付け、道も歩きやすいように整地するなど、ほたる観賞がしやすい環境作りには行政も努めています。

会の主催者は「ほたると同じくらい皆さんに来ていただきほたる観賞ができて本当にうれしいです」と話され、会の活動が実を結んだ充実感に浸っているようでした。



観賞会は大盛況でした。



今年から安全柵ができました！



ほたるの生息に適した環境

◆北九州市◆

6月2日「香月・黒川ほたるまつり」

[詳細はこちら](#)

こちらは北九州市の「黒川」でのほたるまつりの模様です。なんと100万都市である北九州でほたるが見られるんです！

開催地である黒川は、かつて人口の増加による家庭排水の増加などで川の水質が悪化し、ほたるが絶滅してしまいました。そんな黒川を再生し、再び川にほたるが舞う姿を取り戻したのが「香月・黒川ほたるを守る会」の皆さんで、今回のまつりの主催者でもあります。

今年で20周年を迎えた「香月・黒川ほたるまつり」は、香月中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、式典では北九州市長をはじめとする多くの来賓の他にも、平成13年から、ほたるを通して日韓交流が

始まっていることもあり、チマチョゴリを装った女性や子ども達の姿も見ることができました。

まつりの主催者は「昨年は雨のため式典ができませんでしたが、今年は20周年でもあり十分な時間をかけて祭りを迎えることができました。」とこやかに話されました。

また、会では、子どもたちに、ほたるの生態や生育環境について学ばせ、ほたるを通して命の尊さや自然環境の大切さを教える活動「ほたる教室」を開催しています。参加した子どもたちは、ほたるの光を見つめながら命の大切さを感じているようでした。



香月中学校吹奏楽部の演奏で幕開け



ほたるを通じた日韓交流も行われています。



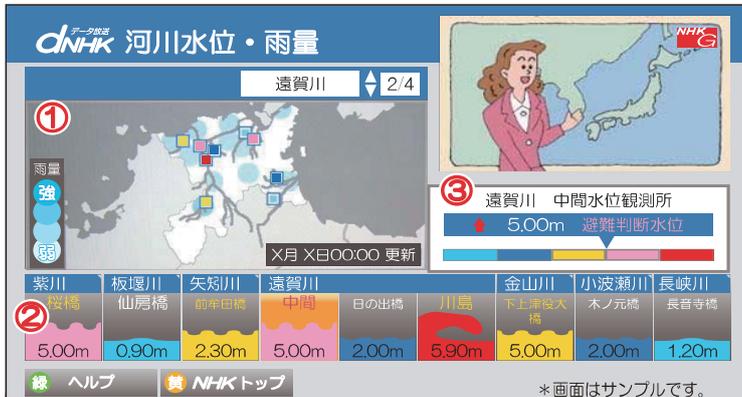
幻想的です

遠賀川河川事務所からのお知らせ～大雨・洪水への備え～

台風に伴う大雨やゲリラ豪雨などに対して適切な行動をとるためには、自主的な情報収集が重要です。

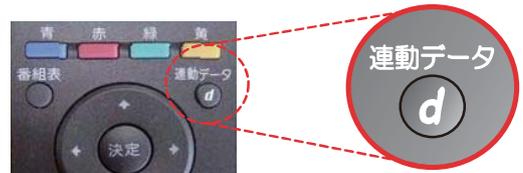
現在、普及が進んでいる地上デジタル放送対応テレビで、遠賀川などの河川水位情報がデータ放送にて、見る事が出来るようになりましたのでご紹介します。

地上デジタル放送対応テレビのデータ放送で河川水位・雨量情報を見る。



1. 地上デジタル放送対応テレビ又は、地上デジタル放送チューナー（データ放送対応）でチャンネル（放送局）を「NHK 総合」に合わせる。

2. リモコンのdボタンを押します。

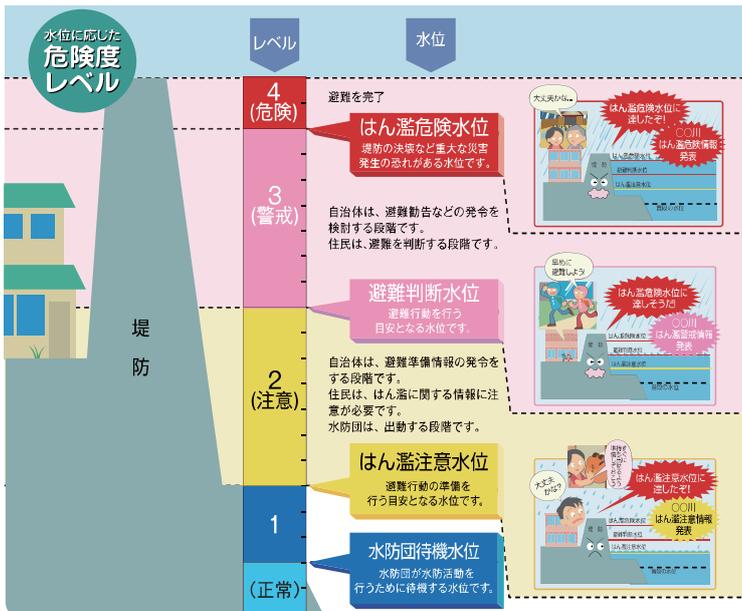


* dボタンの位置、表記は機種によって異なります。

3. NHKデータ放送内のメニューから、「河川水位・雨量」を選択し、決定ボタンを押します。

4. 「河川水位・雨量」では、矢印キーの上下で地区を、左右で観測所を切りかえます。詳しくはリモコンの緑ボタンでヘルプをご覧ください。

- ① 円形は雨量の強さを濃淡で示し、四角は観測所を示し、危険度レベルに応じて、色が変わります。
- ② 各観測所の水位と危険度レベルが色で表示されます。
- ③ 観測所の詳細が表示され、危険度レベルの状況が分かります。



避難の目安～水位に応じた危険度レベル～

- 川には避難の目安となる、水位に応じた危険度のレベルがあります。各レベルの内容や意味、とるべき避難行動等は左記の様な状況を示しています。
- 各自治体から発表される「避難準備情報・避難勧告・指示」などや河川情報に注意して、危険だと判断したら指示がなくとも早めの避難を心がけましょう。

携帯電話からアクセス

携帯電話からでも雨量や水位の状況を知ることができます。

遠賀川河川事務所防災情報 http://www2.ocn.ne.jp/~onga/mobile_cctv/

河川情報アラームメール kasenslarm-info@qsr.mlit.go.jp



8月9日		田川市	タガツパゼミナール(学習会後3回開催)	田川ふるさと川づくり交流会
8月18日	土	嘉麻市	第3回源流の森再生応援団 第1回目の作業	NPO遠賀川流域住民の会
8月18・19日	土・日	遠賀町	遠賀川子どもふれあい塾	ひびき青年会議所
8月19日	日	飯塚市	カヌー駅伝大会	NPO遠賀川流域住民の会

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
 住所 直方市溝堀1丁目1-1
 電話 (0949) 22-1830
 FAX (0949) 22-2859
 HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
 電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>